

## 野菜の需給・価格動向レポート(平成24年9月3日版)

平成24年9月3日  
野菜需給部

### 1 主要野菜の生産出荷状況

種類	7月の価格動向		8月の価格動向		生育及び価格の9月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基とな る平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロック 旬別平均販売価 額	(参考) 保証基準額の 算定の基とな る平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額				
	下旬	上旬	中旬					
葉 茎 菜	キャベツ	74.19	53	74.19	51	65	・入荷見込量：15,608t (102) ・主産地：群馬 (77)、岩手 (10)、北海道 (5)	・群馬産は、順調な生育で潤沢な出荷になっており、今後も潤沢な出荷の見込み。 ・岩手産は、順調な生育となっているものの、今後は少雨と高温の影響でやや出荷量が減少する見込み。 ・群馬産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		88.91	57	88.91	54	70	・入荷見込量：4,000t (106) ・主産地：群馬 (66)、長野 (33)	
	ねぎ (関東：白ねぎ 関西：青ねぎ)	273.33	238	273.33	203	261	・入荷見込数量：4,555t (104) ・主産地：青森 (29)、北海道 (13)、山形 (12)、秋田 (11)、茨城 (10)、輸入 (6)、岩手 (5)	・青森産は、適雨により生育が回復し、平年並みの出荷となっている。 北海道産は、順調な生育で、平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		342	344	342	340	403	・入荷見込数量：200t (105) ・主産地：香川 (34)、大阪 (21)、徳島 (12)、奈良 (8)、高知 (7)	
	はくさい	78.06	52	78.06	57	72	・入荷見込量：8,085 (100) ・主産地：長野 (89)	・長野産は、少雨の影響や病害の発生もなく順調な生育で、今後も潤沢な出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		88.72	47	88.72	58	68	・入荷見込量：3,300 (99) ・主産地：長野 (99)	
	ほうれんそう	583.95	579	583.95	552	617	・入荷見込量：875t (100) ・主産地：群馬 (33)、栃木 (25)、岩手 (12)、茨城 (11)	・群馬産及び栃木産は、高温と少雨の影響で生育が鈍り、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。
		670.86	613	670.86	625	678	・入荷見込量：400t (101) ・主産地：岐阜 (82)、北海道 (11)	
	レタス	120.13	109	158.27	115	117	・入荷見込量：7,644t (105) ・主産地：長野 (83)、群馬 (10)	・長野産は、少雨の影響や病害の発生もなく、順調な生育で潤沢な出荷の見込み。 群馬産は、少雨の影響で正品率が低下しているものの、潤沢な出荷となっている。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		132.22	112	160.6	122	117	・入荷見込量：1,300t (110) ・主産地：長野 (99)	
果 菜	たまねぎ	84.85	139	84.85	136	116	・入荷見込量：11,903t (110) ・主産地：北海道 (77)、輸入 (7)	・北海道産は、8月下旬から全地区での本格的な出荷が開始となり、今後は徐々に出荷が増加する見込み。 ・北海道産の出荷の増加が見込まれることから、平年を上回って推移している価格は、落ち着いて平年並みに近づく見込み。 (※トピック欄参照)
		84.85	146	84.85	136	139	・入荷見込量：3,600t (101) ・主産地：兵庫 (54)、北海道 (38)	
	きゅうり	210.69	216	210.69	156	152	・入荷見込量：7,390t (100) ・主産地：福島 (25)、埼玉 (13)、茨城 (12)、群馬 (11)、岩手 (9)、秋田 (8)、宮城 (7)	・福島産は、夜温も高く病害もないことから、順調な生育となっており、ピークを過ぎたことから減少傾向ではあるものの、中旬までは順調な出荷の見込み。 埼玉産は、8月下旬から出荷が開始となり、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		221.71	199	221.71	157	178	・入荷見込量：1,750t (104) ・主産地：福島 (29)、北海道 (27)、愛媛 (9)、山形 (7)	
	トマト	229.51	311	229.51	237	217	・入荷見込量：8,208t (100) ・主産地：青森 (19)、千葉 (18)、北海道 (14)、茨城 (12)、福島 (11)、群馬 (8)	・青森産は、高温の影響により花落ちが見られることから、少なめの出荷となる見込み。 千葉産は、平年並みの出荷の見込み。 北海道産は、平年を上回る出荷量となっていたが、成り疲れのため、今後は平年並みの出荷となる見込み。 ・青森産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。
		271.33	343	271.33	288	256	・入荷見込量：1,750t (101) ・主産地：北海道 (35)、岐阜 (31)、岡山 (11)、石川 (6)	
	なす	209.55	309	209.55	186	175	・入荷見込量：4,053t (105) ・主産地：栃木 (33)、茨城 (23)、群馬 (22)、埼玉 (8)	・栃木産は、高温と少雨の影響により花落ちが見られることから、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 茨城産及び群馬産は、平年並みの出荷の見込み。 ・栃木産の出荷が減少すると見込まれることから、平年を下回っている価格は平年並みに近づく見込み。
		221.72	287	221.72	212	177	・入荷見込量：1,100t (109) ・主産地：山梨 (24)、群馬 (17)、徳島 (12)、福島 (10)、大阪 (8)、奈良 (7)、京都 (6)	
	ピーマン	251.5	272	263.58	275	177	・入荷見込量：2,235t (103) ・主産地：茨城 (45)、岩手 (31)、福島 (10)、青森 (9)	・茨城産は、順調な生育で中旬から増加する見込み。 岩手産は、夜温が高いことから、平年より多めの出荷となっているが、高温と少雨の影響により今後は少なめの出荷となる見込み。 福島産は、高温と少雨の影響で正品率が下がり、少なめの出荷となっている。 ・茨城産の出荷が順調と見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		266.65	246	282.16	202	191	・入荷見込量：520t (101) ・主産地：福島 (27)、青森 (16)、北海道 (13)、兵庫 (13)、愛媛 (8)、大分 (7)	
根 菜	だいこん	94.6	68	94.6	61	67	・入荷見込量：11,502t (102) ・主産地：北海道 (62)、青森 (29)、岩手 (7)	・北海道産は、潤沢な出荷だったが、8月中下旬の高温の影響で品質が低下し、上旬までは出荷が減少する見込み。 青森産は、播種が遅れた時期のものの出荷になることから、中旬までは少なめの見込み。 ・出荷量の減少が見込まれることから、平年を下回って推移している価格は平年並みに近づく見込み。
		100.39	70	100.39	61	68	・入荷見込量：3,300t (99) ・主産地：北海道 (70)、岐阜 (11)、青森 (10)	
	にんじん	133.01	113	123.08	98	86	・入荷見込量：7,710t (105) ・主産地：北海道 (95)、輸入 (3)	・北海道産は、順調な生育で、今後も潤沢な出荷となる見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		132.62	112	123.11	92	88	・入荷見込量：2,500t (101) ・主産地：北海道 (99)	

種類	7月の価格動向		8月の価格動向		生育及び価格の9月の見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額				
	下旬	上旬	中旬					
いも	さといも	344	338	242.66	314	320	・入荷見込量：1,070t (100) ・主産地：千葉 (54)、宮崎 (29)、輸入 (8)	・千葉産は、順調な生育となり平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、台風の影響で収穫作業が遅れていたが、遅れた分の出荷と通常の出荷が重なることから、中旬までは平年を上回る出荷となる見込み。 ・宮崎産の出荷が増加すると見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		347.9	288	220.11	234	207	・入荷見込量：259t (-) ・主産地：宮崎 (70)、愛媛 (18)、大阪 (6)	
	ばれいしょ	101.61	82	101.61	82	91	・入荷見込量：7,708t (106) ・主産地：北海道 (86)	・北海道産は、順調な生育で玉の肥大も良く、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		101.61	92	101.61	90	96	・入荷見込量：4,100t (101) ・主産地：北海道 (92)	

1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)  
2) 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)  
3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。  
5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。  
6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

## 2 野菜の需要動向

家計調査によると、7月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4.319gで前年比99%、購入金額は、1,651円で同94%となり、購入量は前年並みで、購入金額は前年をかなり下回った。	生鮮野菜の購入量及び金額 (1人当たりの購入量、金額)						主要野菜の月別小売価格(東京都都部)の推移 (単位：円/kg)						
	年		過去5か年平均		平成23年		平成24年		過去5か年平均		平成24年		
	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比	金額(円)	前年比	購入量(g)	平成24年	5か年比(%)	平成24年	5か年比(%)
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104	166	230	138	547	690
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107	177	247	140	508	691
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	4,584	94	1,851	104	188	238	126	461	692
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	4,620	96	1,904	106	238	262	110	462	513
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	4,945	96	1,948	107	172	196	114	380	409
6月	5,043	1,872	4,904	1,857	5,103	104	1,875	101	144	127	88	350	305
7月	4,441	1,696	4,362	1,759	4,319	99	1,651	94	160	119	75	324	292
8月	4,348	1,719	4,392	1,717	0	0	0	0	156	115	74	463	309
9月	4,831	1,804	4,598	1,803	0	0	0	0	155	0	0	562	0
10月	5,262	1,862	5,037	1,884	0	0	0	0	161	0	0	505	0
11月	5,016	1,636	5,091	1,613	0	0	0	0	162	0	0	371	0
12月	5,145	1,834	4,998	1,792	0	0	0	0	153	0	0	453	0

1) 過去5か年は平成19～23年の平均。  
2) 平成24年8月の値は、8月中旬の速報値。  
資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

## 3 野菜の輸入動向

8月の輸入を貿易統計でみると、生鮮野菜は前年比137%の8万トン、加工野菜は同117%の17万トン、野菜全体では同123%の24万トン、うち中国からの輸入は同118%の12万トンとなつた。生鮮野菜、加工野菜及び野菜全体いずれも、前年を大幅に上回つた。	野菜の輸入数量の推移 (単位：トン、%)							主な野菜の輸入動向 (単位：トン、%)						
	区分		平成22年		平成23年		平成24年1～7月		平成24年7月		品目		輸入先	
			前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比	前年同月比	前年同月比	たまねぎ	合計	平成23年7月(A)	平成24年7月(B)
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	633,174	112	77,995	137			中国	19,872	26,278	132
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	1,105,488	107	165,870	117			ニュージーランド	25	3,875	15,500
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	1,738,662	108	243,814	123			にんじん	6,462	10,390	161
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	864,377	108	124,332	118			中国	5,244	9,420	180
中国産シェア	51		52		50		51				オーストラリア	450	536	119

資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成24年7月は、速報値である。

## 4 トピック — たまねぎの需給動向 —

今年の4月以降のたまねぎの価格動向は、平年を大きく上回つて推移している。これは、主産地の佐賀県が、定植時期の降雨等の影響で根の活着が悪かったことから、不作傾向となつたこと等により、入荷量が平年より少なめに推移したことによる。こうした状況を反映して、たまねぎの輸入は、平成18～23年の平均を大きく上回つて推移しており、通常なら輸入量が減少する7月も、高水準を維持している。9月以降は、例年、1人当たりの購入数量が増加する中で、供給面では、佐賀県や兵庫県の残量は少ないと見込まれるもの、主産地の北海道産の生育が順調なことから、その出荷が計画通りに進めば、平年を上回つて推移している価格は平年並みに近づくと思われる。また、高水準で推移している輸入量は、落ち込いてくるものと思われる。	たまねぎの入荷量と卸売価格の推移(4月～9月東京都中央卸売市場)						たまねぎの輸入量の推移					
	区分		平成22年		平成23年		平成24年1～7月		平成24年7月			